

学校教育目標

自ら気付き、考え、判断して行動する子どもの育成



めざす子ども像



21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた、自律する子

	課題発見力	論理的思考力	コミュニケーション能力	実践力
1・2年生	「不思議だな」「何故かな」を見つける。	事柄や時間の順序を整理しながら考える。	自分の思いや考えを相手に伝える。	自分がすることを最後までやり抜く。
3・4年生	自ら問いを見つけ、既習内容や方法で解決する。	因果関係を整理し、筋道を立てながら考える。	自分の考えと相手の考えを比べながら伝え合う。	自分がすることを考え、目標を持って最後までやり抜く。
5・6年生	自ら問いを見つけ、見通しを持って調べたり、考えたりしながら、解決する。	因果関係を整理し、筋道を立てたり、根拠を明確にしたりしながら考える。	多様な考えを受け入れながら、自分の考えを伝える。	自分の役割を自覚し、役に立つ喜びを感じながら行動する。

学ぶ楽しさを実感しながら、主体的に学びに向かい、力を育む授業づくり
～付ける力の共有、知的好奇心を高める言語活動を通して～

主体的に学ぶ意欲の育成、基礎学力の定着

- 書く力、読む力の育成
 - ・相手、目的意識を持たせた国語科の言語活動
 - ・日常的な「書く・読む」機会の確保、作品紹介
- 必然性のある繰り返し学習
 - ・チャレンジタイムの活用、自己目標の設定
- 多様な学びの充実
 - ・ICT教育機器の効果的な活用
 - ・自ら立てた学習計画による学び(自由進度学習等)

自らに自信を持ち、相手を思いやる心の育成

- 目的意識を持たせた特別活動
 - ・課題解決に向けた自主的な係、委員会活動
 - ・児童が企画運営を行う異学年活動、学校行事
 - ・自分の役割を考え、実行できる多様な活動の場
- 挑戦意欲の喚起
 - ・学びを表現したり、発表したりする場づくり
 - ・選んでトライする活動の充実
 - ・目標設定と振り返り、適切な評価



自らの生活を律するたくましい心と体の育成

- 自ら体力づくりに取り組む態度の育成
 - ・学級、学年、異学年など多様な集団での活動
 - ・運動量を確保する体育科の授業展開
 - ・授業始めのサーキット運動
 - ・適度な外遊び
- 生活習慣を自分でマネジメントする態度の育成
 - ・家庭と連携して取り組むアウトメディア週間
 - ・食への関心を高める取組(掲示、放送、出前授業等)



教職員がやりがいと充実感を持ち、元気に働くことができる職場環境づくり

- 主体的に学び合う教職員集団
 - ・「子ども主体の授業づくり」の方向性の共有
 - ・固定観念にとらわれない柔軟さ&チャレンジ精神
 - ・自己研修計画による授業提案、研究協議
- 環境整備、教材教具の充実
 - ・迅速、適切な予算執行、校内の整理整頓
- 教職員の働き方改革
 - ・“当たり前”の見直し、教育課程の工夫改善